

ウクライナの平和を願い、献花台を設置

河内長野市
令和4年3月7日

河内長野市国際交流協会（柴理梨^{しばりりあ}会長）は、ウクライナの平和への願いを示すため、河内長野市立市民交流センター「キックス」（河内長野市昭栄町7-1）のエントランスホールに、献花台を3月8日から設置する。

河内長野市では、3月1日に同市議会が「ロシアによるウクライナへの侵攻を厳しく抗議する決議」を全会一致で可決するとともに、島田智明市長がロシア連邦のプーチン大統領に抗議書を送っている。また、ウクライナの人々への連帯の意志や平和への願いを示したいとの声が市民から寄せられていた。

これらの動きを踏まえ、過去にウクライナの舞踊団を受け入れて市民との交流を深めた経験のある同市国際交流協会が、「私たちに今できることをしよう」と企画し、今回の献花台の設置に至った。また、同市で平和人権活動を行っている河内長野市人権協会（安達英行会長）もこの取り組みに賛同し、献花台に掲げるウクライナ国旗を提供する。

献花場所のある同センターの開館は、月曜日を除く午前9時から午後10時。献花台は、ウクライナへの軍事侵攻が一定収束するまで当面の間設置する予定。

献花台設置初日の3月8日は、午後0時30分に柴会長、安達会長、島田市長が順次献花し、ウクライナ侵攻の平和的解決を願う。柴会長は「一刻も早く安全で安心なウクライナに戻り、両国民に平和が戻ることを願います」、島田市長は「このような取り組みが各地に広がり、今回の軍事侵攻の終結に寄与できれば」と話していた。

問い合わせ 河内長野市総合政策部人権推進課（☎0721-53-1111）

または河内長野市国際交流協会（☎0721-54-0002）